

映像版 USB ビデオキャプチャユニット
デジ造 PCA-DAV3
 Digital Creation Gear Digizo

活用ガイド

ArcSoft ShowBiz 3.5 DVD版 編

本書では、本製品付属の動画編集ソフト『ArcSoft ShowBiz 3.5 DVD版』を使用した、動画のキャプチャーからソフトの簡単な使い方を紹介します。

本書をお読みいただく前に

本書をお読みいただく前に、必ず「設定ガイド」に従ってドライバのインストールおよびソフトウェアのインストールを行ってください。

ArcSoft ShowBiz 3.5 DVD版に関するお問合せ

本製品に付属しております「ArcSoft ShowBiz 3.5 DVD版」に関するお問合せは、下記までご連絡ください。

ソフトウェアのタイトル : ArcSoft ShowBiz 3.5 DVD版

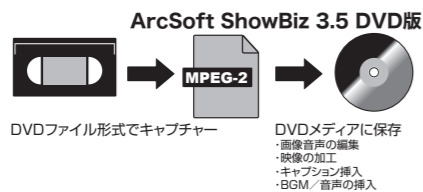
●電話によるお問い合わせ : 0570-060655 (アーソフトテクニカルサポートセンター)

受付時間 : 月～金曜日 (除く祝日) 10:00～12:00、13:00～18:00

●Eメールによるお問い合わせ : support@arcsoft.jp

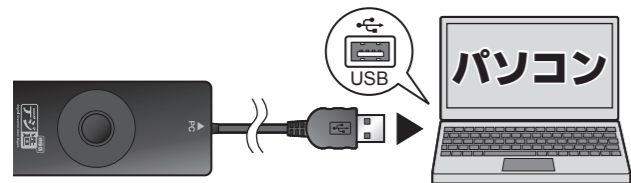
ArcSoft ShowBiz 3.5 DVD版

『ArcSoft ShowBiz 3.5 DVD版』は、デジ造映像版本体を經由して再生されたVHS/8mmビデオなどをパソコンにキャプチャーすることができます。キャプチャーした映像は編集などをしてDVDに保存することができます。



動画のキャプチャー (録画)

パソコンの起動後、本製品のUSBコネクタをパソコンのUSBポートに接続します。



映像機器を本製品に接続します。



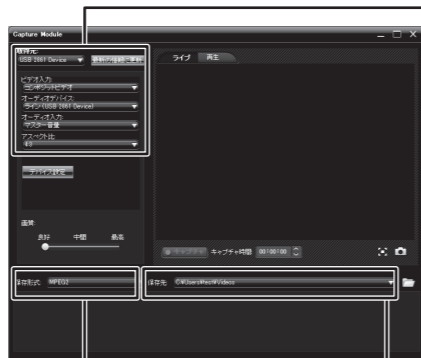
『ArcSoft ShowBiz 3.5 DVD版』を起動します。

デスクトップのアイコンをダブルクリックするか、スタートメニューから [ArcSoft ShowBiz] → [ArcSoft ShowBiz] の順に選択して、ソフトウェアを起動します。



『ArcSoft ShowBiz 3.5 DVD版』が起動したら、[キャプチャー] タブをクリックします。

下記の箇所の設定を確認します。



[取得元]
→『USB 2861 Device』

ご利用のパソコンに、キャプチャーボードなどが搭載されている場合は、複数の入力デバイスが表示されます。

[ビデオ入力]
→映像機器が接続されている映像端子

Sビデオ端子から入力する場合は、[Sビデオ] を選択します。

[オーディオデバイス]
→『ライン (USB 2861 Device)』

[オーディオ入力]
→『マスター音量』
※XPでは『ライン』

[アスペクト比]
→映像のアスペクト比に合わせて設定

『16:9』は主に最近の液晶テレビなどのワイド画面に対応した画面サイズになります。

『4:3』は従来型のテレビに主に使用されている画面サイズになります。

キャプチャーする映像のファイル形式は[MPEG2]となります。

キャプチャーする映像の保存先を選択します。

動画のキャプチャーはデータサイズが大きくなります。保存先のハードディスクの空き容量には十分ご注意ください。キャプチャーデータの保存先は、ソフトウェアがインストールされているドライブとは物理的に異なる、内蔵ハードディスクに指定されることをお勧めいたします。

映像機器の再生を開始します。



キャプチャーする場で、[キャプチャー] をクリックしてください。動画のキャプチャーを開始します。

[停止] をクリックすると、キャプチャーを終了します。



キャプチャーした映像のアイコンが、画面に追加されます。

Show Biz 3.5で使用されている主な用語について

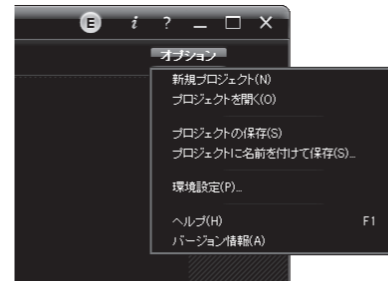
- 「アスペクト比」…… 映像の縦横比 (16:9/4:3)
- 「キャプション」…… “タイトル” “見出し” “字幕” のこと
- 「キャプチャー」…… 映像を動画や画像ファイルとしてパソコンに保存すること
- 「トランジション」…… 場面転換時の“手法”や“効果”のこと
- 「エフェクト」…… 映像に加える“効果”のこと
- 「ストーリーボード」…… 場面が切り替わる部分毎にサムネイルを並べたもの。
- 「タイムライン」…… 時系列で表示したもの。

キャプチャーした映像を編集する



キャプチャーが完了したら、次はキャプチャーした映像を編集します。
[編集] タブをクリックすると、編集画面が表示されます。

プロジェクトの設定をする



画面右上の [オプション] をクリックすると、新規のプロジェクトを作成やプロジェクトの保存などが行えます。

[オプション]メニューから [環境設定] を選択します。主に、下記の設定が可能です。

- ・プロジェクト編集時の動作設定
- ・通常使用するプロジェクトの保存場所
- ・ファイルのインポート、エクスポート時の初期フォルダ



プロジェクトのアスペクト設定について

プロジェクトのアスペクト比を4:3に設定した場合、16:9のキャプチャー動画をストーリーボードに入れると、動画の上下に黒帯が入った動画になります。

プロジェクトのアスペクト比を16:9に設定した場合、4:3のキャプチャー動画をストーリーボードに入れると、動画の左右に黒帯が入った動画になります。

キャプチャーした動画を順番に並べる

ソフトウェアのタイムライン上に、キャプチャーした動画をドラッグ&ドロップして並べることができます。配置した動画は、再生時間を変更することも可能です。キャプチャーした動画以外にも、パソコンに保存されているデータを追加したり、テキストやエフェクトなどを挿入することも可能です。



編集画面では、2つのレイアウトで動画の編集をすることができます。
[ストーリーボード] [タイムライン] タブをクリックして編集画面を切替えます。

ストーリーボード画面



この画面を表示するには、[ストーリーボード] タブをクリックします。

動画を紙芝居の様に並べることで、簡単にストーリーを作成することができます。

タイムライン画面



この画面を表示するには、[タイムライン] タブをクリックします。

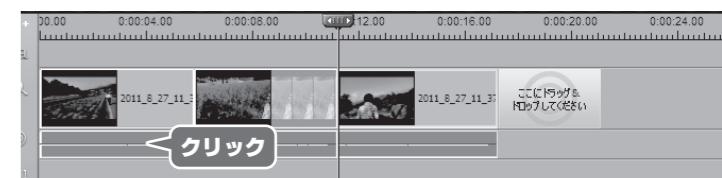
動画や音楽、トランジションやエフェクトなど、秒単位の細かい調整を行う画面です。



映像と映像の境界にカーソルを移動して、カーソルが「⇄」に変わった状態でドラッグすることで、映像をトリミングすることができます。

音声を編集する

キャプチャーした動画の音量などを調整することが可能です。



パソコンの音声や静止画を入れる



画面上部のタブをクリックして、オーディオ挿入画面を表示します。ドロップダウンリストをクリックして、挿入するコンテンツを選びます。例えば、「オーディオ」を選択すると、オーディオサンプルが表示されます。気に入った音をドラッグ&ドロップすると、BGMとして挿入することができます。

自動的に、タイムライン表示に変わります。

キャプションやタイトルを入れる (テキスト)



映像の上にキャプションやタイトルを入れることが可能です。様々なテンプレートもあらかじめ用意されています。

自動的に、タイムライン表示に変わります。



キャプチャーした映像を編集する（続き）

場面転換の効果を設定する（トランジション）



場面転換などの際に、様々な効果（トランジション）をつけることができます。

自動的に、タイムライン表示に変わります。

映像に効果をつける（エフェクト）



映像に様々な効果（エフェクト）をつけることができます。

自動的に、タイムライン表示に変わります。

詳細な画像編集



配置されている動画を選択して、タイムライン左上のアイコンをクリックすると、詳細な画像編集をすることができます。



動画の不要な部分を、トリミングすることができます。

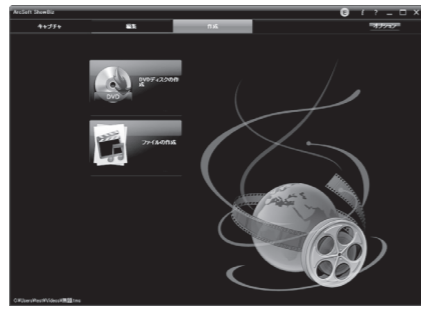


複数のエフェクトを重ねたり順番を入れ替えることが可能です。様々なエフェクトの効果を確認しながら編集することができます。

プロジェクトを保存する

[オプション]メニューから[プロジェクトの保存]または[プロジェクトに名前を付けて保存]を選択します。編集途中のデータを保存して、あらためて再編集することも可能です。

映像を書き出す



編集が完了した映像を、一つの動画ファイルやDVDに書き出すことができます。

DVD ディスクを作成する



[DVDディスクの作成]ボタンをクリックします。

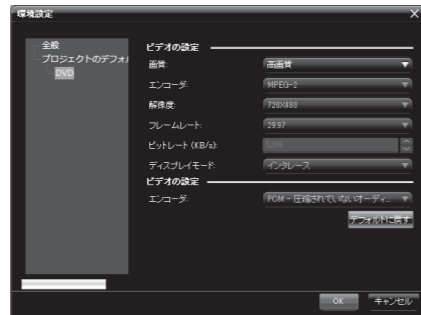


最初に、メニュー画面を作成します。編集画面で製作した映像のサムネイルが配置されます。

テキスト入力の外、サムネイルを拡大したり、ドラッグして移動することが可能です。



画面右上の[オプション]から[環境設定]を選択します。

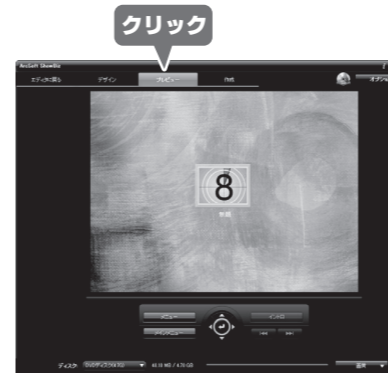


環境設定画面が表示されます。ここでは、「DVD」を作成する際の設定をおこなうことができます。



画面右下の[画質]ボタンをクリックして、画質を選択します。

【ディスクに合わせる】ディスク容量に合わせて画質の調整をおこないます。
【高画質】高画質で保存します。(推奨)
【カスタマイズ】お好みの画質に調整できます。



メニュー画面の編集が終わったら、[プレビュー]タブをクリックして、実際の画面を確認します。



[作成]タブをクリックして、作成画面を表示します。

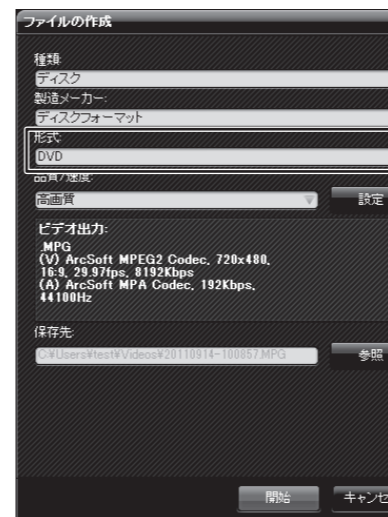
記録可能なディスクをドライブに挿入して、[書き込み]をクリックすると、ディスクの作成を開始します。

DVD用の動画ファイルを作成する

編集が完了した映像を、DVDの保存に最適なファイル形式の動画ファイルに書き出すことができます。



[ファイルの作成]ボタンをクリックします。



DVDに保存するためのファイルを作成する場合、「種類」を「ディスク」にして、「形式」を「DVD」にします。DVDに保存する際に最適なデータ形式で、動画ファイルを作成します。

[開始]ボタンをクリックすると、作成を開始します。

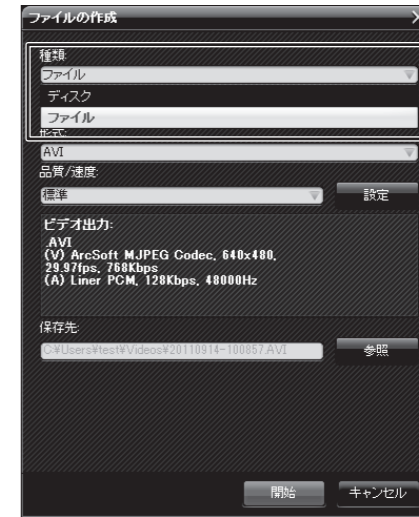
【開始】ボタンを押した直後は、データ処理のため、次の操作が可能になるまで少し時間が掛かる場合があります。処理が完全に終了するまで、むやみにキーボードやマウスを操作しないでください。

AVIやMPEG形式の動画ファイルを作成する

編集が完了した映像を、AVI形式の動画ファイルに書き出すことができます。

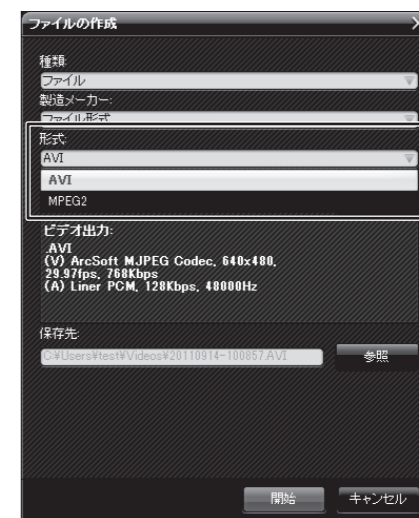


[ファイルの作成]ボタンをクリックします。



AVIやMPEG形式のファイルを作成する場合、「種類」を「ファイル」にして、「形式」を「AVI」または「MPEG2」にします。

【設定】ボタンを押すと、アスペクト比やビットレート、フレームレートの変更など、詳細な設定が可能です。



「形式」を「AVI」または「MPEG2」にします。

[開始]ボタンをクリックすると、作成を開始します。

【開始】ボタンを押した直後は、データ処理のため、次の操作が可能になるまで少し時間が掛かる場合があります。処理が完全に終了するまで、むやみにキーボードやマウスを操作しないでください。